

20-10

174

289

治廿八年二月發行

國民軍條例
國民兵召集規則

全

金澤

雲

根

堂

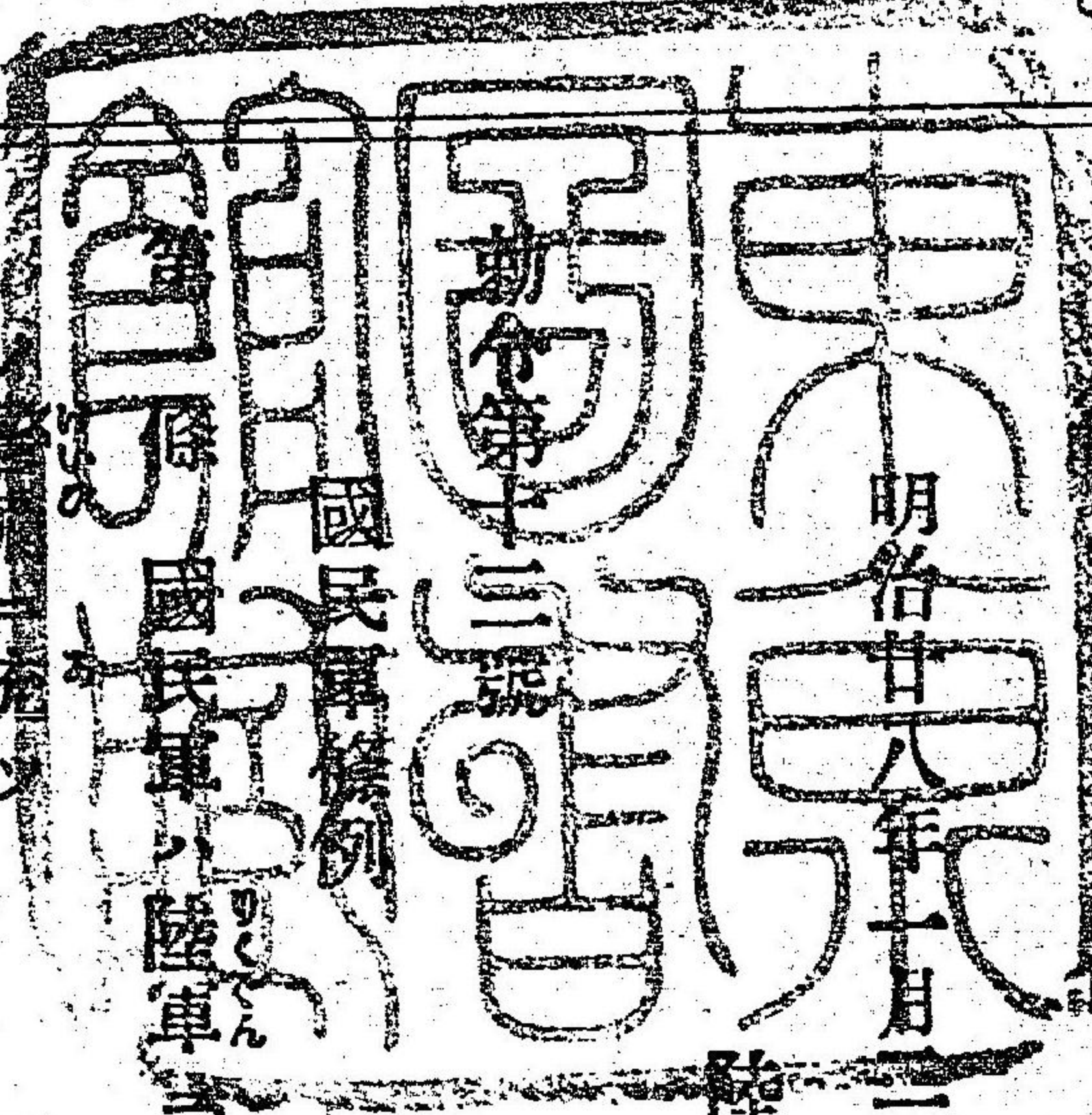
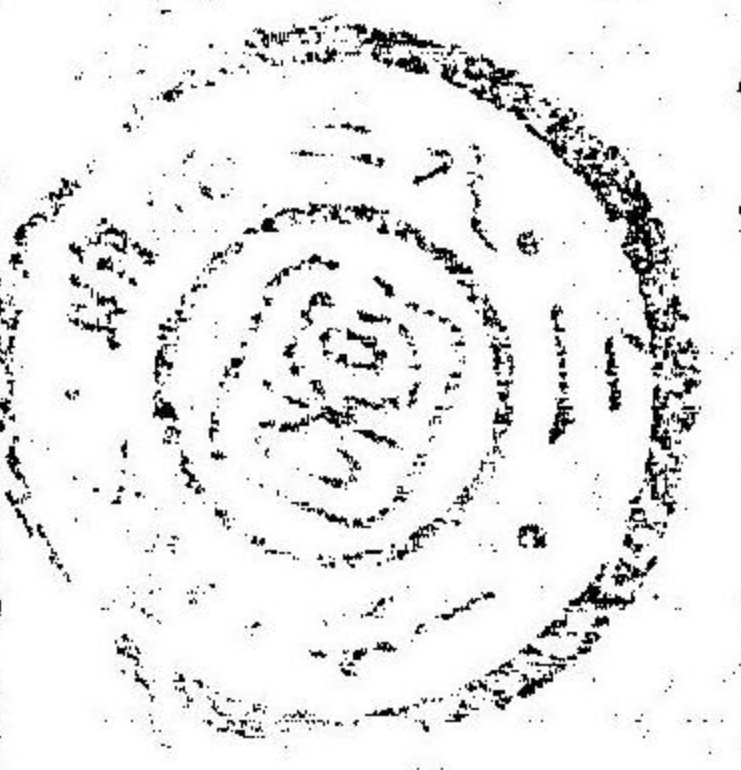
02
691
026

朕國民軍條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治廿八年十月二十五日

陸軍大臣 伯爵西郷從道



(一) 第二條 國民軍ハ國民兵ヲ以テ之ヲ編制ス

警備ニ充テ

國民軍ハ陸軍ニ屬シ主トシテ衛戍若クハ邊境

第三條 國民兵ノ召集及解散ハ勅命ニ依リ師團長之ヲ行フ

戒嚴ヲ宣告シ得ルノ權アル司令官時機切迫シテ通信斷絶シ命ヲ請フノ途ナキトキハ直ニ召集ヲ行フコトヲ得

第四條 國民軍幹部ハ必要ニ應シ現役豫備後備ノ陸軍將校、同相當官、准士官、下士ヲ以テ充ツルノ外左ニ掲クル者ヨリ選拔シテ之ニ充ツ

一 退役ノ陸軍將校、同相當官、准士官ニシテ國民兵役ニ在ル者若クハ國民軍編入志願ノ者

二 元陸軍下士、上等兵ニシテ國民兵役ニ在ル者若クハ國民軍編入志願ノ者

三 國民兵中材幹技能アル者

第五條 陸軍後備兵ニシテ後備軍召集ニ加ハラサル者ハ特ニ國民軍ニ編入スルコトヲ得

第六條 第四條第二第三ニ該ル者ノ任官ハ陸軍武官官等表ニ依リ士官以上ハ師團長ノ具狀ニ由リ陸軍大臣之ヲ奏薦宣行シ其ノ他ハ師團長ノ認可ヲ得テ聯隊長、同等以上ノ權アル長官之ヲ行フ

第三條 第二項ニ依リ召集ヲ行ヒタル司令官ハ召集員

ニ士官以上ノ勤務ヲ命スルコトヲ得其ノ勤務ヲ命セ
ラレタル者ノ身分取扱ハ其ノ官職ヲ有スル者ニ準ス
前項ノ司令官師團長ニアラサルトキハ準士官以下ノ
任官ニ付師團長ト同一ノ權ヲ有ス

第七條 國民軍幹部ノ進級ハ拔擢トス其ノ任官ハ前條
ノ例ニ依ル

第八條 國民軍編制ノ爲メ召集セラレタル者及志願ニ
由リ國民軍ニ編入セラレタル者ハ其ノ間現役ニ準ス
第九條 第四條第二第三ニ該リ任官シタル者解散ノト
キハ準士官以上ハ之ヲ退役トシ下士ハ其ノ官ヲ免ス

陸軍省令第二號

國民兵召集規則左ノ通定ム

明治二十八年二月一日

陸軍大臣 伯爵西郷從道

國民兵召集規則

第一章 總則

第一條 國民兵召集ヲ別テ左ノ四種トス

第一種 陸軍ニ於テ軍事教育ヲ受ケタル者

第二種 滿二十一歳以上二十六歳未滿ニシテ陸軍豫
備徵員タリシ者

第三種 滿二十六歲以上三十歲未滿ニシテ陸軍豫備

徵員タリシ者

第四種 前三種ニ屬セサル者

第二條 各種ノ國民兵召集ハ各種同時若クハ各別ニ之ヲ行ヒ又ハ一部ノ地方ヲ限り之ヲ行フコトヲ得

第三條 各種ノ國民兵ハ年齡若キ者ヨリ之ヲ召集スルヲ例トス

年齡十七歲以上二十歲迄ノ國民兵ハ特別ノ命令アルニ非ラサレハ之ヲ召集セス

第四條 本規則ニ於テ郡ト稱スルハ市ノ東京、京都、大阪

區及島廳ヲ置キタル島嶼ヲ包含ス

第五條 本規則ニ於テ師團長ト稱スルハ近衛師團長ヲ

包含セス又警備隊區ニ在テハ同司令官ハ大隊區司令

官、島司ハ郡長、市長東京、京都、大阪ノ三市ニ在テハ區長ハ郡長及町村

長、戶長ハ町村長ノ職務ヲ行フ

第六條 戒嚴ヲ宣告シ得ル權アル司令官國民兵ノ召集

ヲ行フ場合ニ在テ師團長ニアラサル司令官ハ其召集

ニ關シ師團長ト同一ノ職權ヲ有ス

第二章 召集

第七條 師團長國民兵召集令ヲ下ストキハ之ト同時ニ

召集ノ種類所要ノ人員及召集地ヲ定メ旅團長ヲ經テ

大隊區司令官ニ達シ又地方長官ニ通知スヘシ

師團長所要ノ人員ヲ定ムルニハ召集區域中召集ノ種

類毎ニ其總員不應召員ノ見込數ヲ率トシ比例ヲ以テ

之ヲ各大隊區ニ配賦ス但配賦人員ニハ檢査不合格見

込人員凡十分ノ一ヲ加算スルモノトス

第八條 大隊區司令官前條ノ達ヲ受クレハ各郡ニ配賦

スヘキ人員召集地及應召員ノ一旦集合スヘキ地點並

ニ其集合期日ヲ定メ之ヲ郡長ニ通達ス

大隊區司令官召集人員ヲ定ムルニハ大隊區中召集ノ

種類毎ニ其總員ヲ率トシ比例ヲ以テ之ヲ各郡ニ配賦

ス

大隊區司令官ハ各郡ノ應召員並ニ其召集地到着ノ時

日ヲ豫定シ之ヲ旅團長ヲ經テ師團長ニ報告スヘシ

第九條 郡長ハ地方長官ヨリ國民兵召集令ヲ受領シ大

隊區司令官ヨリ前條第一項ノ通達ヲ受ケタルトキハ

召集令、召集スヘキ人員、召集地、集合地及集合期日

ヲ町村長ニ通達シ且集合地ニハ吏員ヲ派遣スヘシ

郡長召集人員ヲ定ムルニハ郡中召集ノ種類毎ニ其總

員ヲ率トシ比例ヲ以テ之ヲ各町村ニ配賦ス

第十條 町村長前條ノ達ヲ受ケタルトキハ其配賦人員ニ應シ第一様式ノ召集令傳達書ヲ作り之ヲ國民兵中召集スル種類ニ相當スル者ノ内年齢若キ者ヨリ逐次ニ之ヲ交付シ配賦人員ニ充タシメ然ル後集合地ニ至リ派遣ノ郡吏員ニ第二様式ノ應召員連名簿ニ通テ附シテ應召員ヲ交付スヘシ此名簿ニハ其町村ニ在籍スル國民兵中召集令傳達書ヲ交付シタル總テノ人名ヲ掲ケ不應召員ハ其事由ヲ記シ第十二條ノ書類ヲ添フヘシ

第十一條 召集傳達書ヲ受ケタル國民兵ハ町村長ノ指

示ニ從ヒ該傳達書ヲ携帶シ發途スヘシ

第十二條 正當ノ事故ニ因リ召集ニ應シ難キ者ハ本人或ハ戸主若クハ其家族ヨリ二十四時間以内ニ町村長ニ届出ツヘシ但其事故傷疾疾病ニ係ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ其他ハ憲兵或ハ警察官ノ承認書ヲ添フヘシ

前項ニ違背シタル者ハ五十錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處シ又ハ五日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第十三條 郡吏員集合地ニ至レハ町村長ヨリ受領セシ連名簿ヲ大隊區司令官或ハ大隊區司令部出張員ニ差出スヘシ

第十四條 應召員集合地ニ到着スルハ大隊區司令官或

ハ大隊區司令部出張員身體検査ヲ爲サシメ合格不合

格ヲ召集令傳達書並ニ連名簿ニ記入シ連名簿一通ハ

之ヲ郡吏員ニ傳達書ハ之ヲ本人ニ返附シ其合格者ハ

郡吏員ヲシテ召集地ニ引率セシメ不合格者ハ直チニ

歸郷セシムヘシ但身體検査ハ最寄衛戍地ノ在職軍醫

若クハ地方醫師ヲシテ之ヲ行ハシム

第十五條 郡吏員應召員ヲ引率シ召集地ニ到着シタル

トキハ連名簿ト共ニ之ヲ國民兵受領員ニ交付スヘシ

第十六條 召集地ニ於ケル國民兵受領員ハ師團長適宜

ニ之ヲ編成スヘシ

第十七條 召集令傳達書ハ應召員ヨリ編入セラレタル

部隊ニ差出スモノトス

第十八條 陸軍召集條例第二章中本則ニ矛盾セサルモ

ノハ之ヲ準用ス

第三章 旅費支給

第十九條 國民兵召集旅費ハ當該監督部長陸軍大臣ノ

命令及師團長ノ請求ニ依リ居住地ヨリ集合地迄ノ概

算額ハ之ヲ陸軍臨時召集旅費支出規程ニ定ムル所ノ

出納官吏ニ送付シ該出納官吏ハ適宜之ヲ應召員ニ交

付スヘシ

其集合地ヨリ召集地迄ノ旅費及検査不合格者ノ歸郷旅費概算額ハ之ヲ大隊區司令官ニ送付シ該司令官又ハ司令部出張員ヨリ本人ニ交付スヘシ

第二十條 國民兵召集旅費ハ陸軍給與令第三十七表ノ額ニ依ル

第二十一條 志願ニ依リ國民軍ノ幹部ニ充テラレタル者ハ前條ノ例ニ依リ編成地ニ於テ旅費ヲ給ス

第四章 雜則

第二十二條 第六條ノ場合ニ在テ前諸條ノ規定ニ依リ

難キトキハ司令官必要ニ應シ適宜處置スルコトヲ得

第二十三條 後備軍召集ニ應セサル在郷軍人ニシテ國民兵ト共ニ召集セラルル時ハ其召集手續ハ本規則ニ依リ施行スルコトヲ得

第一様式 用紙半紙郵紙

國民兵召集令傳達書

何府(縣)何郡(區)市町村番地

族籍戶主(某長男、子弟等)

第何種國民兵

姓 名

何年何月生

右國民兵トシテ何召集地ニ召集ヲ命セラレ候條來ル
 何月何日午前何時何大隊區何地集合地ニ參集スヘシ
 何年何月何日 何市町村長 姓名 印

記

一金何圓何拾何錢也

右居住地ヨリ集合地迄ノ旅費トシテ相渡候也

何年何月何日 何郡長(何收稅署長)(何郡書記)姓名印

第二樣式 用紙美濃野紙

何府(縣)何郡(區)市町村

第何種國民兵連名簿

住所族籍	召集ニ應セサル事由	合格	摘要	姓名
何村字何々番地士族 戶主(某長男、子弟等)	疾 病	〃	元豫備徵員	何 某
何村字何々番地平民 某二男甥	禁 錮	合 格	元陸軍歩兵 軍曹	何 某
〃	〃	〃	農	何 某
〃	〃	不 合 格	開 業 醫	何 某
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃

計何名

應召員 何名
 內 不應召員 何名

前書ノ通相違無之候也

何年何月何日 何市町村長 姓名 印

明治廿八年二月七日印刷
同年同月十四日發行

編發
纂行
者兼

小坂作平

石川縣金澤市東馬場町
百七十三番地ノ二

印刷者

宇野孝太郎

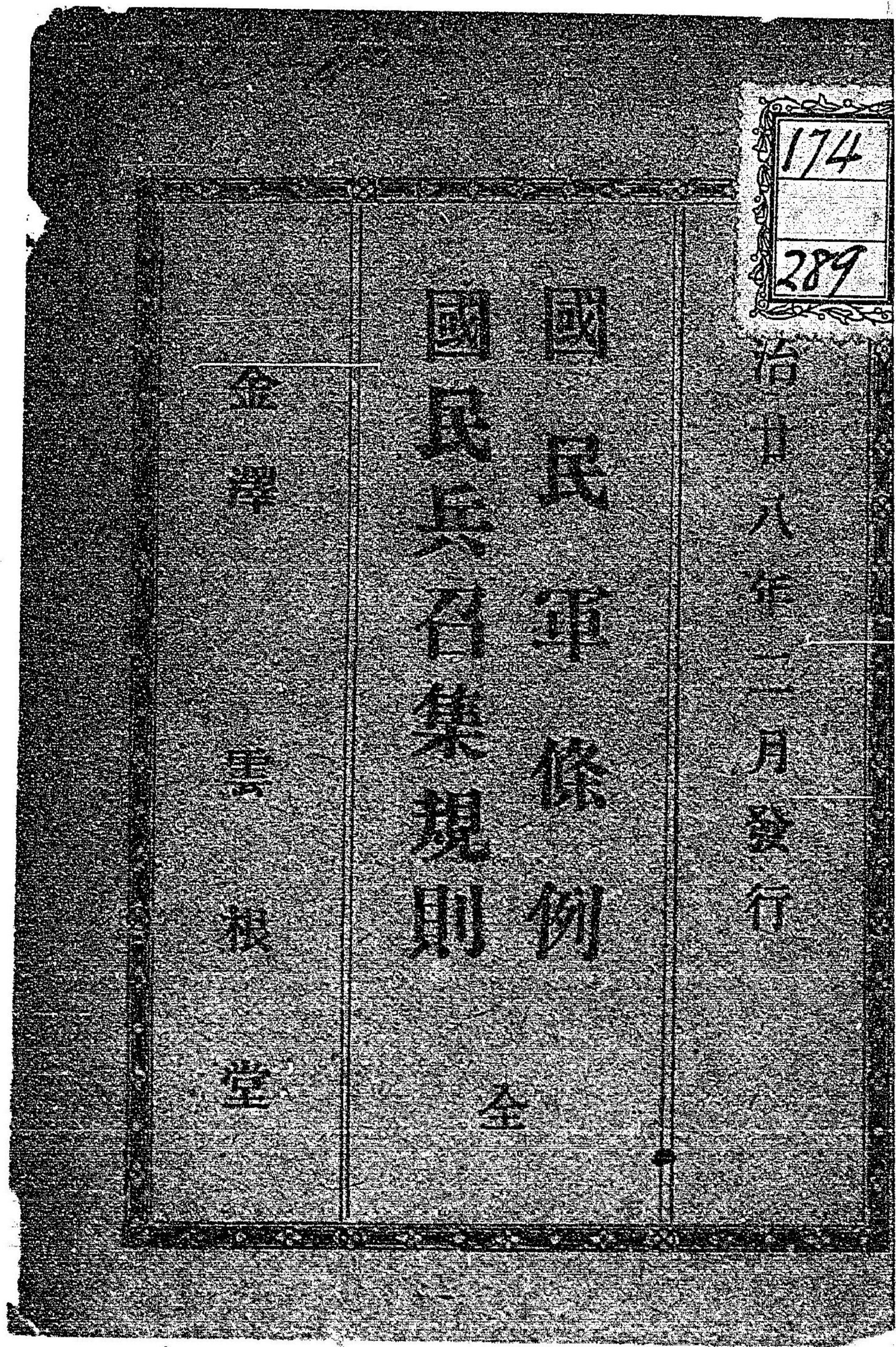
石川縣金澤市尾張町
八十一番地活文堂

金澤市尾張町

發行所

雲根堂





038984-000-0

CZ-671-0101

國民軍條例國民兵召集規則

雲根堂

M28.2

BCC-0211

